

鳴門うず潮便り

～ココロもカラダもウズウズする時間～

第 30 回総会・学術集会が開催される

徳島県鳴門市の魅力を発信します ☆

徳島県**鳴門市**は自然と文化が調和した魅力あふれる街です。

世界三大潮流のひとつとして知られる**鳴門の渦潮**は、季節ごとに異なった迫力ある景観を楽しめ、多くの来訪者を魅了しています。

四国八十八カ所霊場の一番札所である**霊山寺**をはじめとする歴史文化、世界の名画を原寸大で鑑賞できる**大塚国際美術館**は国内外からも高い評価を受けています。

さらに、**鳴門金時**や**鳴門わかめ**に代表される特産品や穏やかな海と人の温かさが、訪れる人に安らぎを与えてくれます。雄大な自然と豊かな文化に触れる旅として、ぜひ一度鳴門市へお越しください。

名前：鳴門 渦之助

渦潮の海で育った鯛の男の子
渦のような見た目の

ロールケーキが大好き。



©Yuji Sasaki

第 30 回総会・学術集会

【開催日】

2026 年 6 月 27 日(土)～
6 月 28 日(日)

【会場】

鳴門教育大学
(徳島県鳴門市鳴門町高島)

【参加費】

会 員 : 5,000 円
非会員 : 6,000 円
学 生 : 2,000 円

◇ 詳細は学会 HP よりご覧いただけます。

【問い合わせ】

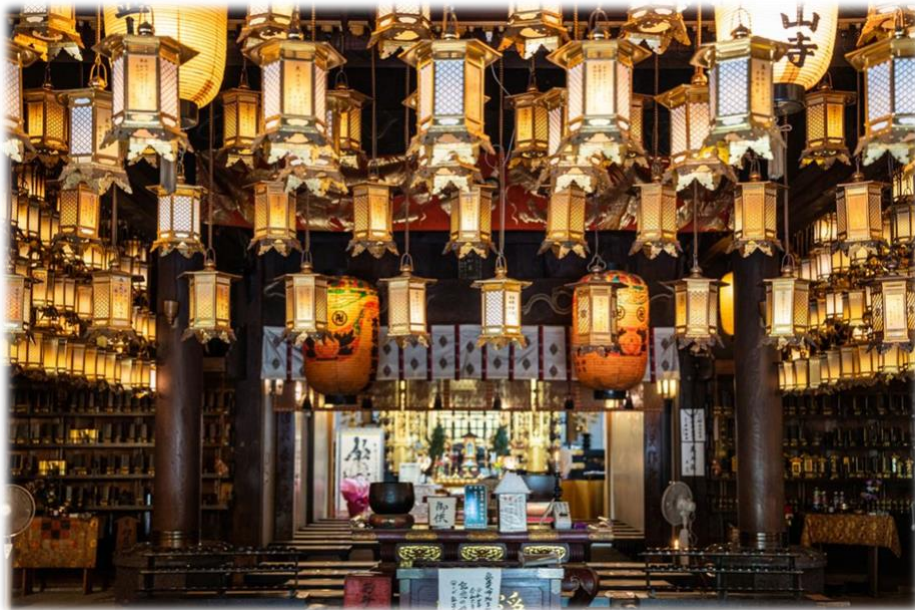
第 30 回日本医療保育学会学術集会企画委員事務局

MAIL : dai30kai@gmail.com

四国八十八か所第一番札所【靈山寺】

「靈山の釈迦のみ前にめぐりきてよろずの罪も消え失せにけり」

四国八十八ヶ所霊場の巡礼は、弘法大師空海の足跡をたどり巡拝しながら四国を一周する壮大な旅路です。行程はおよそ 1460 キロ。旅の目的は人によって様々ですが、多くの人が自分と向き合い、自らを見つめなおす時間として遠く四国の地までやって来るそうです。近年、参拝方法は多様化していますが、歩き遍路は雨の日も風の日も、来る日も来る日もただひたすら歩きます。「一步をふみ出す」ことさえ自らに問う毎日の中、四国の人々に根付いた【お接待】の文化が勇気を与えその心を癒し支えてくれるのです。僕はそうした日々の中に救いや許しがあるように思えてなりません。今回ご紹介する一番札所靈山寺はその四国遍路の「発願の寺」として今なお重要な存在となっています。往時は阿波三大坊の一つとされ荘厳な伽藍を誇りましたが、1582 年長宗我部元親の兵火により堂塔は全焼。その後も、復興焼失を経験しつつも現在は往時の姿を取り戻し、立派な山門も構えています。地の利を生かした寺観の配置も美しく見応えは十分です。春は遍路の季節と言われます。二番札所【極楽寺】まで 1.3km 空海の足跡を辿る体験に一步を踏み出してみてはいかがでしょうか？



企画委員：津川靖弘

賀川豊彦記念館

賀川豊彦は徳島で育ち、若き日、神戸の貧民街に身を投じて貧しい人々の救済に専念しました。壮年時代には、労働組合運動、農民運動、協同組合運動、無産政党樹立運動に献身し、大正デモクラシーの機運を盛り上げました。また、生涯を通じて日本と世界にキリスト教の伝道を行い、戦後は世界連邦運動を提唱、指導し、ノーベル平和賞に4度推薦されました。これらの諸活動を継続する間に文学作品も多数発表し代表作の小説「死線を越えて」は日本最初のベストセラーとなっています。児童福祉の分野では、幼稚園や保育園を設置して子ども家庭事業を展開すると同時に、「ジュネーブ子どもの権利宣言」に先駆けて「6つの子どもの権利論」を発表しています。

1.食う権利 2.遊ぶ権利 3.寝る権利 4.叱られる権利 5.夫婦喧嘩を止めて乞う権利 6.禁酒を要求する権利です。これらの活動が認められ、1999年12月、国連が採択した「子どもの権利条約」のもと、「子どもの最善の利益を守るリーダー」として、世界の52人の一人に選ばれた偉人です。徳島で生まれ育った僕にとっては「この子らを世の光に」と説いた糸賀一雄先生に並ぶ児童福祉のヒーローです。医療保育に関わるすべての人に訪問してもらいたい場所としてご紹介させていただきます。



企画委員：津川靖弘

大学のある高島近辺のお食事処を紹介します

さぬき手打ちうどん 丸亀

徳島はうどんもおいしい土地ですが、こちらの名物は八宝菜風の餡がかかった“焼きうどん”。ボリュームたっぷり、寒い日は餡かけの温かさが嬉しい一品です。釜揚げうどんも人気があります。



船本うどん

徳島県鳴門市には、地元で長く愛されてきた“なるちゆるうどん”があります。しょうゆのお出汁に、細く短めで柔らかい不揃いの麺、具はネギと刻み揚げだけという素朴な一杯。テレビでも紹介される、鳴門ならではの当地うどんです。

かかし

大学の“第二の食堂”として教職員や学生に親しまれるお店。お昼の定食は 660 円の日替わりの魚定食をはじめ、お刺身や一品料理など鳴門ならではの魚料理が楽しめます。(日曜日定休)



サンチャゴバーガーズ

神戸で人気のクラフトバーガー店が鳴門に移転。国産牛 100% の自家製パティに、オニオン・トマト・レタスなどの新鮮な野菜を合わせ、神戸の人気ブーランジェリー『レコルト』の玄米バンズでサンドした、おしゃれで美味しいバーガーが楽しめます。

堂の浦 鳴門本店 “鯛塩ラーメン”

鳴門といえば鳴門鯛。鯛をふんだんに使ったラーメンです。徳島ラーメンとは少し異なる、新しく人気になったラーメン店です。



企画委員：木村直子

企画委員の「ずっと好きだった☆彡」

入江 慶太 (新見公立大学)	犬が好きで、愛犬との時間に癒やされています。 医療保育に携わる立場として、入院中の子どもに 安心感をもたらすファシリティドッグの可能性に も関心を寄せています。	
垂髪 あかり (鳴門教育大学)	わんこと一緒に泳ぐことです。冬から春はプール で、初夏から秋までトライアスロン大会出場のた めに海トレしてます。海には魚がいっぱいて、 いやしてくれます。	
木村 直子 (鳴門教育大学)	ケニアナイロビ郊外のシロアムの園のお母さんた ちが手作りされたポーチに入っていたケニア産紅 茶の美味しさに感動！美しい色の力強い香りが、 最近のささやかな癒やしです。	
佐々木 祐二 (とくしま医療センター東病院)	好きな映画は「パッチアダムス」。この出会いか らホスピタルクラウンに惹かれました。今は病棟 で、おもしろい格好をしてギターを弾いていま す。斉藤和義も大好きです。	
橘高 真紀子 (環太平洋大学)	ドライブが大好きです。関西ではありますが、六 甲山を上り眺める神戸から大阪平野の大パノラマ は最高です！	
河村 麻美 (宇部中央病院)	シュガーバターサンドの木というお菓子が大好き です。自分を買わなくても紙袋を持っている人を見 るとにんまりしてしまいます。直営店が地元にな る日を待ち侘びています。	

企画委員の「ずっと好きだった☆」

津川 靖弘 (とくしま医療センター西病院)	私は年に数回、1・2泊程度に区切り四国遍路に出かけています。日常から離れて別世界でただひたすら歩く時間は贅沢です。「自分に向き合い、自分を見つめる遍路道」皆さんにも味わっていただきたいものです。	
古賀 聖子 (肥前精神医療センター)	私の好きなもの。それは文房具です。中でも大好きなのはデルフォニックス「ロールバーン」です。サイズも表紙も色々あり、仕事もプライベートも使える便利なノートです。	
鈴木 智子 (四国大学)	好きなものは、鳴門わかめうどんです。海産物が美味しい徳島ですが、中でも歯ごたえのよいわかめのうどんや味噌汁は抜群ですよ。	
森本 寛訓 (川崎医療福祉大学)	私の好きなものは時代小説です。特に池波正太郎の鬼平犯科帳は愛読書のひとつです。また池波正太郎はエッセイも面白く、そこで描かれる彼の衣食住にあこがれています。	
谷川 弘治 (学会 理事長)	自然を歩き撮影すること。 冬は、夜明け前から朝陽が昇るまでの山の上からの高原の景色にフォーカスしています。	
土屋 明子 (学会 副理事長)	私は本を読むこと、そして本屋さんが好きです。最近はおしゃれなカフェ併設の本屋さんやホテルのブックラウンジにも注目しています。時間に制約されずに過ごしてみたいです。	